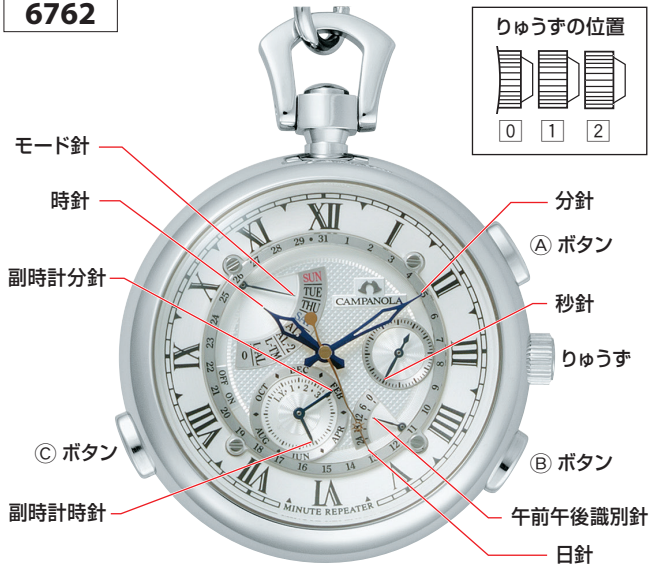


6762/6765 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  6762/6765 取扱説明書

各部の名称

6762



・モデルによってデザインは異なります。

6765



・モデルによってデザインは異なります。

時刻を合わせる

この時計には、基本時計（時計針、分針、秒針）と副時計（副時計時針、副時計分針、午前午後識別針、カレンダー）があります。

1. 秒針が0秒を指しているときに、りゅうずの位置を 2 にする

秒針が止まり、モード針が「0」を指します。

・日針が「31」を指します。指していないときは、後で修正します。

基本時計の時刻を合わせる

2. りゅうずを回して、基本時計の時刻を合わせる

副時計の時刻を合わせる

3. (B) ボタンを押して、副時計の時刻を合わせる

・(B) ボタンを押すごとに、針が1分ずつ進みます。

・ボタンを押し続けると、連続して動きます。

・午前午後識別針を見て、午前午後の違いに注意します。

・副時計の時と分は連動します。

・日針が「31」を指していないときは、(A) ボタンをくり返し押して、「31」を指すようにします。

・(A) ボタンを押すごとに、針が1つずつ進みます。ボタンを押し続けると、連続して動きます。

4. 時報に合わせて、りゅうずの位置を 0 にする

秒針が動きはじめ、モード針が曜を指します。

基本時計と副時計の秒を合わせる

1. りゅうずの位置を 0 にする

2. (C) ボタンを押して、モード針を「0」に合わせる

日針が1秒ごとに動いて、副時計の秒を表示します。

3. 時報に合わせて、(A) ボタンを押す

基本時計と副時計の秒が、同時に修正されます。

・秒針位置が30～59秒の場合、1分進みます。

4. (C) ボタンをくり返し押し、曜を表示させて終了する

・何も操作せずに2分間経過すると、副時計、日、曜の表示に自動で戻ります。

月と年を確認する

1. りゅうずの位置を 0 にする

・モード針が曜を指していないときは、(C) ボタンをくり返し押して、曜を指すようにします。

2. (B) ボタンを2秒間以上押す

副時計時針が「年」を、副時計分針が「月」を示します。

・年の表示は、うるう年からの経過年数で示されます。

3. いずれかのボタンを押して終了する

カレンダーを合わせる

- この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)
- 基本時計と副時計の時刻が異なっていると、カレンダーは正しく表示されません。

1. りゅうずの位置を [1] にする

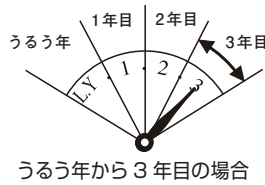
副時計時針が「年」を、副時計分針が「月」を示します。

2. ① ボタンを押して、日針を合わせる

- ① ボタンを押すごとに、針が1日ずつ進みます。
- ボタンを押し続けると、連続して動きます。
- 存在しない日に合わせると、操作終了後、翌月の1日に針が進みます。

3. ② ボタンを押して、年と月を合わせる

- ② ボタンを押すごとに、針が1月ずつ進みます。
- ボタンを押し続けると、連続して進みます。
- 月と年の表示は、連動します。
- 年の表示は、うるう年からの経過年数で示されます。
- うるう年からの経過年数については、サポートページに詳しい解説があります。



4. ③ ボタンを押して、曜を合わせる

- ③ ボタンを押すごとに、モード針が1つずつ進みます。



5. りゅうずの位置を [0] にして終了する

音で時刻を確認する

基本時計の時刻に合わせて、音が鳴ります。

1. りゅうずの位置を [0] にする

- モード針が曜を指していないときは、③ ボタンをくり返し押して、曜を指すようにします。

2. ① ボタンを1秒間以上押し続ける

高低2種の音で、時刻を知らせます。

- 音による時刻は、「時」、「15分」単位の分、「1分」単位の分の3つから構成されます。
- 音の意味

高さ	長さ	意味
高い	長い	「時」
低い	長い	「1分」
高低の組み合わせ	短い2音	「15分」

- 例：4時36分の場合

	①	②	③	④	①	②	①	②	③	④	⑤	⑥
高音	♪	♪	♪	♪	♪	♪						
低音					♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪
時間	4時				15分×2		6分					
時刻	4時				36分							

副時計にローカルタイムを表示させる

副時計時針と副時計分針に、他の地域の時刻（ローカルタイム）を、30分単位で表示させることができます。

- 基本時計と副時計の時刻が異なっていると、ローカルタイムは正しく表示されません。

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. ① ボタンを押して、モード針を「L-TM」に合わせる

- 現在設定されているローカルタイムが表示され、日針が「31」を指します。
- ローカルタイムを修正するときは、手順3に進みます。修正しないときは、手順4に進みます。

3. ② ボタンを押して、時刻を合わせる

- ② ボタンを押すごとに針が30分ずつ進みます。
- ボタンを押し続けると、連続して動きます。
- 午前午後識別針を見て、午前午後の違いに注意します。
- 時と分は連動します。

4. ③ ボタンを押して終了する

- 何も操作せずに1分間経過すると、自動で副時計、日、曜の表示に戻ります。

アラームを使う

- 基本時計と副時計の時刻が異なっていると、アラームは適切に鳴りません。

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. ① ボタンを押して、モード針を「AL-1」、「AL-2」または「L-AL」に合わせる

- 副時計時針が、現在設定されているアラーム時刻の「時」を、副時計分針が「分」を示し、日針がアラームのON/OFF設定を指します。

アラームの種類

モード針の位置	アラームの内容	鳴った後のON/OFF設定
AL-1	常に現在時刻を基準にアラームを設定することができます。タイマーのように使うことができます。	OFF
AL-2	副時計の任意の時刻にアラームを設定することができます。	ON
L-AL	ローカルタイムの任意の時刻にアラームを設定することができます。	ON

- ① ボタンを2秒間以上押すと、アラーム音を確認することができます。

3. ② ボタンを押して、アラーム時刻を設定する

- ② ボタンを押すごとに針が1分ずつ進みます。
- ボタンを押し続けると、連続して動きます。
- 午前午後識別針を見て、午前午後の違いに注意します。
- 時と分は連動します。

4. ③ ボタンをくり返し押し、曜を表示させて終了する

- 何も操作せずに1分間経過すると、副時計、日、曜の表示に自動で戻ります。

アラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

アラームをキャンセルするには

手順3で、① ボタンを押します。

- ボタンを押すごとに、日針が「ON」「OFF」を交互に指します。

基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. ㉓ ボタンを 3 秒間以上押す

副時計時針、副時計分針、日針、モード針、午前午後識別針が、現在の基準位置を表示します。

・正しい基準位置

副時計時針、副時計分針：12 時位置

日針：「31」

モード針：SUN（日曜）

午前午後識別針：「0」



現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

3. いずれかのボタンを押して終了する

・何も操作せずに 20 秒間経過すると、自動的に終了します。

基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を [2] にする

秒針が止まり、モード針が「0」を指します。

2. ㉑ ボタン、㉒ ボタン、㉓ ボタンを同時に 2 秒間以上押す

日針、モード針、副時計時針、副時計分針、午前午後識別針が順番に動いたあと、確認音がします。

3. ㉑ ボタンを押して、日針を「31」に合わせる

- ・ボタンを押すごとに、針が 1 つずつ進みます。
- ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。

4. ㉒ ボタンを押して、副時計時針、副時計分針、午前午後識別針を合わせる

- ・ボタンを押すごとに、針が 1 つずつ進みます。
- ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。
- ・副時計時針、副時計分針、午前午後識別針は連動します。
- ・午前午後識別針を「24」の近くに、副時計時針と副時計分針を 12 時位置に合わせます。

5. ㉓ ボタンを押して、モード針を「SUN」に合わせる

- ・すでに針が「SUN」の位置にあるときは、再度合わせ直します。

6. りゅうずの位置を [0] にする

午前午後識別針が「0」を指します。

- ・完了後は、時刻、カレンダーを合わせ直してください。

日針が回転しているときは

時計回り：時刻合わせをやり直します。

反時計回り：基準位置を修正し直します。